

来尾地区

来尾の棚田

来尾地区は、江戸期は津和野藩領に属していましたが、明治期より都川村に編入、昭和 49 年から市木自治会とともに活動しています。標高 1,191.8 メートルの天狗石山を源流とする、来尾川流域の狭隘な南北に長い集落です。

当地区は斜面が急なため、先人が石を積み上げて面積を確保し苦勞して田んぼを作りました。それが石積み棚田です。

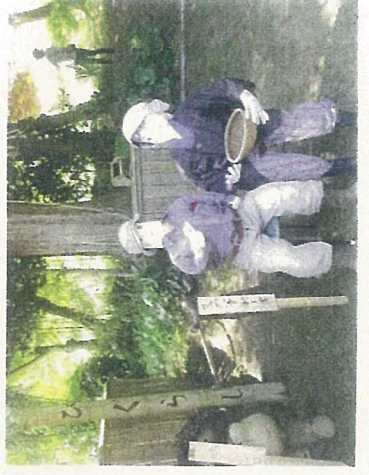
近年は、高齢化と後継者不足により急速に遊休農地化が進んでいます。そのような中、来尾の棚田の中では中核をなす森田屋の棚田は、現在も保全され耕作が続けられている美しい棚田です。



子ご美の里

イベント「棚田かかしまつり」

【大田市 山口町 佐津目地区】



平成28年度 中山間ふるさと・土と水基金事業
～西田地区ヨズクハデ保存活動PR作業～

- 主団体： 西田ヨズクハデ保存会
○地域関連団体；西田会、西田葛生産組合、湯里銀山街道を守る会、西田ひまわり会、
酒仙蔵人・五郎之会、温泉津舞子連中

<趣 旨>

西田地域の銀山街道の棚田景観及び集落の維持につながっている活動の新たな地域連携を推進する。

①西田農業ボランティア募集

- ・酒米作りグループと連携し、農作業等の労働力ボランティアを募集する。
- ・地域の子供や県内の学生、海外交流員との連携を図る取組みを行う。

②ヨズクの里まつりとライトアップ

- ・収穫祭を兼ねた「棚田まつり」の開催の定着化を図り、各種団体と連携し、ライトアップや神楽公演により、地域活性化を図る。

③・西田の情報発信

大学生や国際交流員と地域の魅力について、ワークショップ等を開催し、地域の魅力を再発見し、都市住民等へ発信する。また、地域の女性部を中心にホームページ等の作成研修会を開催し、地域独自による情報発信を進める。

1. 取組内容

① 西田農業ボランティア募集 ： 棚田で交流会 「酒米稲刈り会」の開催

平成28年9月3日（土） 9：30～13：30

○参加者：62名

内訳：酒米作りの会以外の参加者 20名 見学者（カメラ撮影）7名
（広島県3名、松江市5名、市外5名）
酒米作り会員 15名 地元 20名

※山陰合同銀行の皆さんや松江市の飲食店さんとの稲刈り体験交流を新たに実施した。（合銀：7名参加 飲食店：4名参加）

- 今後も継続して参加することによって、次年度以降も新たな企業等へのPRを行い、地域労力の確保と幅広い情報発信を図っていきたい。



② ヨズクの里まつりとライトアップ

平成28年10月9日(日) 18:00~20:30

- ヨズクハデライトアップ、竹灯籠
 - 地元産品の販売(パン、あん餅、角寿司ほか)
 - 新米おむすび、杵つき餅の試食 ※購入注文書を配布し販売も行う
 - 「夜神楽公演」※温泉津舞子連中
- 参加者:100名 ※開催スタッフ15名含む



●棚田まつり会場



●地元産品販売



●ライトアップと竹灯籠



●新米の試食



●夜神楽公演



③西田情報発信

西田地区の魅力発見ワークショップと葛粥、ソバ打ち体験会

参加者：20名

内訳：広島県 3名 松江市 4名
Uターン者 3名 江津市 5名（地域づくり関係ほか）
Iターン者 1名 その他 4名

○ワークショップ、意見交換会の内容

棚田景観を守り、後世に伝えていこうと、平成17年に「ヨズクハデ保存会」（中井秀三会長）が結成され、保存伝承活動が開始された。その当時、既に平成10年から温泉津町内で米作り酒造りを交流活動として、全国から会員（現136名）を集め活動を行っていた「酒仙蔵人・五郎之会」（若林邦宏会長）は、平成17年の米作りから、活動の拠点をこの西田集落に移し、地域と一緒に活動を展開してきた。平成29年には13年目を迎える活動となるが、高齢化率50%を超える西田集落での景観保全活動をどう考えるか、参加者との意見交換会を行った。

- ・米作りの一連の作業にある「ヨズクハデ」は、その制作技術が国の重要無形文化財になっており、絶やすわけにはいかない。（銀山街道の重要な棚田景観）
- ・高齢化にある農村集落の課題は、離農による農地の荒廃化である。
- ・外部からの応援や後継者の育成は喫緊の課題である。（受け皿づくり）
- ・五郎之会の活動は、集落と一緒に活動してきた基盤がある。（20年に及ぶ活動は地域をPRし支えてきた実績がある。）
- ・今後は、米作りという一連の生産体制をどう支えていくのかが課題である。
- ・耕作者の責任は重く、機械化に頼る生産は出来ても、高齢化により「ヨズクハデ」の制作（人力）が出来なくなっている。（事実去年は減っている。）
- ・イベントによる「ヨズクハデ」の生産には限界がある。（自己満足の世界）
- ・収穫期に地域住民や応援者の参加が行えるシステムが構築できないか。
- ・西田集落には、ここだけしかない歴史や風習、食文化が継承されている。（特化）
- ・地域には外部から呼び込むだけの魅力（力）があるのだから誇りを持ってほしい。
- ・地域課題を地域住民が本気で考えなくてはならない。（課題PRが必要）

● ホームページ作成、更新作業研修会

水土里ネット島根を講師に招き、西田地区の女性部の皆さんにより、ホームページの更新、パソコン研修会を開催した。

【6月、7月、8月の3回実施】

参加者：7名受講



棚田ネットのホームページを更新する方法を習得し、地域の様々なイベントの情報発信のきっかけとなった。次年度にはオリジナルのページを作成する予定。